

contents

[コラム]

リフレッシュするのは受講者だけではなく—ジョーシン 2014 秋での議論を受けて—
…鈴木 貢

[解説]

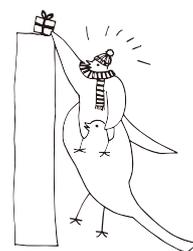
プログラミング学習環境の自作
PenFlowchart によるプログラミング学習
…中西 渉

[解説]

情報化社会における創造力をどう育むか？『ビスケット塾』の試み
…小林桂子 渡辺勇士

 Column

リフレッシュするのは受講者だけではなく—ジョーシン 2014 秋での議論を受けて—



去る 2014 年 10 月 25 日に、テーマを「情報教科教員としてのスキルアップ—教員免許更新講習などを活用して」として、「高校教科『情報』シンポジウム 2014 秋」（愛称 ジョーシン）が開催された。シンポジウムでは、8 月 4 日から 6 日にかけて本会が実施した教員免許更新講習の報告に始まり、情報教育を担う教員の生涯教育について多面的な議論が活発に行われた。実施の経緯については、ぺた語義の解説¹⁾やコラム²⁾を、シンポジウムの内容については本会の初中等教育委員会(<http://sigps.eplang.jp/>)の本シンポジウムの Web ページをご覧ください。ここではシンポジウムでの議論を通じて考えたことを書かせていただきたい。

小職にとって教員免許更新講習（以下更新講習と略）は数年に 1 度の「おしごと」で、上から目線で一方通行の大学生向け授業のサブセットと、確実に合格点が出るテストでごまかしていたが、シンポジウムを聴講して、改めなければならないと確信した。講師としてお手伝いいただいた先生から、講習を通して先生自身もリフレッシュしたという感想があったが、小職のようなりエゾンではなく、自分が興味を抱ける内容を、分かりやすさに重点を置いて指導されていたことが資料集から読み取れる。

現行の更新講習で情報は「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」の選択領域であるが、「免許状更新講習における選択必修領域の導入について」では、2016 年以降は「教育の情報化(情報通信技術を利用した指導)および情報教育(情報モラルを含む)等」の選択必修となる。^{たが} 箍がきつくなるとするのは小職だけであろうか。

2013 年 6 月の閣議決定「世界最先端 IT 国家設立宣言」や、上記の選択必修化が示すように、情報教育のプレゼンスはますます高まっている。しかし、ぺた語義で繰り返し指摘されているように、初等中等学校でのお寒い情報教育は、情報系学部・学科が優秀な学生を確保する際の障害の 1 つと考えられる。確かに、更新講習は、社会への小窓に過ぎないかもしれないが、個々の大学教員の興味を社会に問う機会の 1 つと捉え、受講者と「萌え」を共有することは、講師も自分のリフレッシュにもつながるのではないか。

最後に、2015 年に開催される 2 つの高校教科「情報」シンポジウム（5 月中旬 大阪工業大学うめきたナレッジセンターと、10 月下旬 早稲田大学（予定））のご案内で締めくりたい。詳しくは上記の初中等教育委員会の Web ページをご覧ください。

参考文献

- 1) 中野由章, 中山泰一: 高等学校情報科教員の現状—その問題点と我々にできること—, 情報処理, Vol.55, No.8, pp.872-875 (Aug. 2014).
- 2) 松原 仁: 教員免許更新講習, 情報処理, Vol.55, No.12, p.1399 (Dec. 2014).

鈴木 貢 (高校教科「情報」シンポジウム 2014 秋 実行委員長/島根大学)

ロゴデザイン ● 中田 恵 ページデザイン・イラスト ● 久野 未結